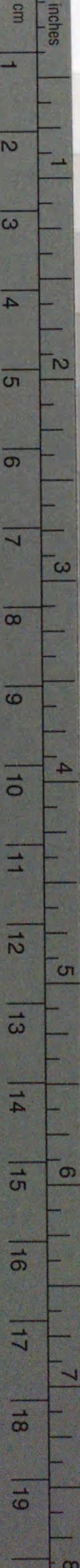


Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



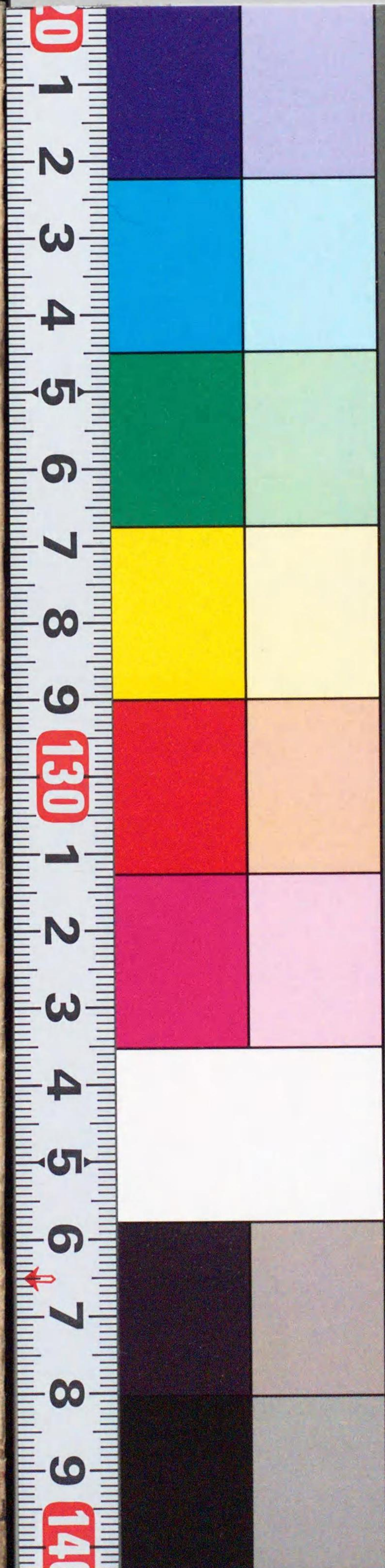
© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



Y994

J7188

大 阪 都 制 案

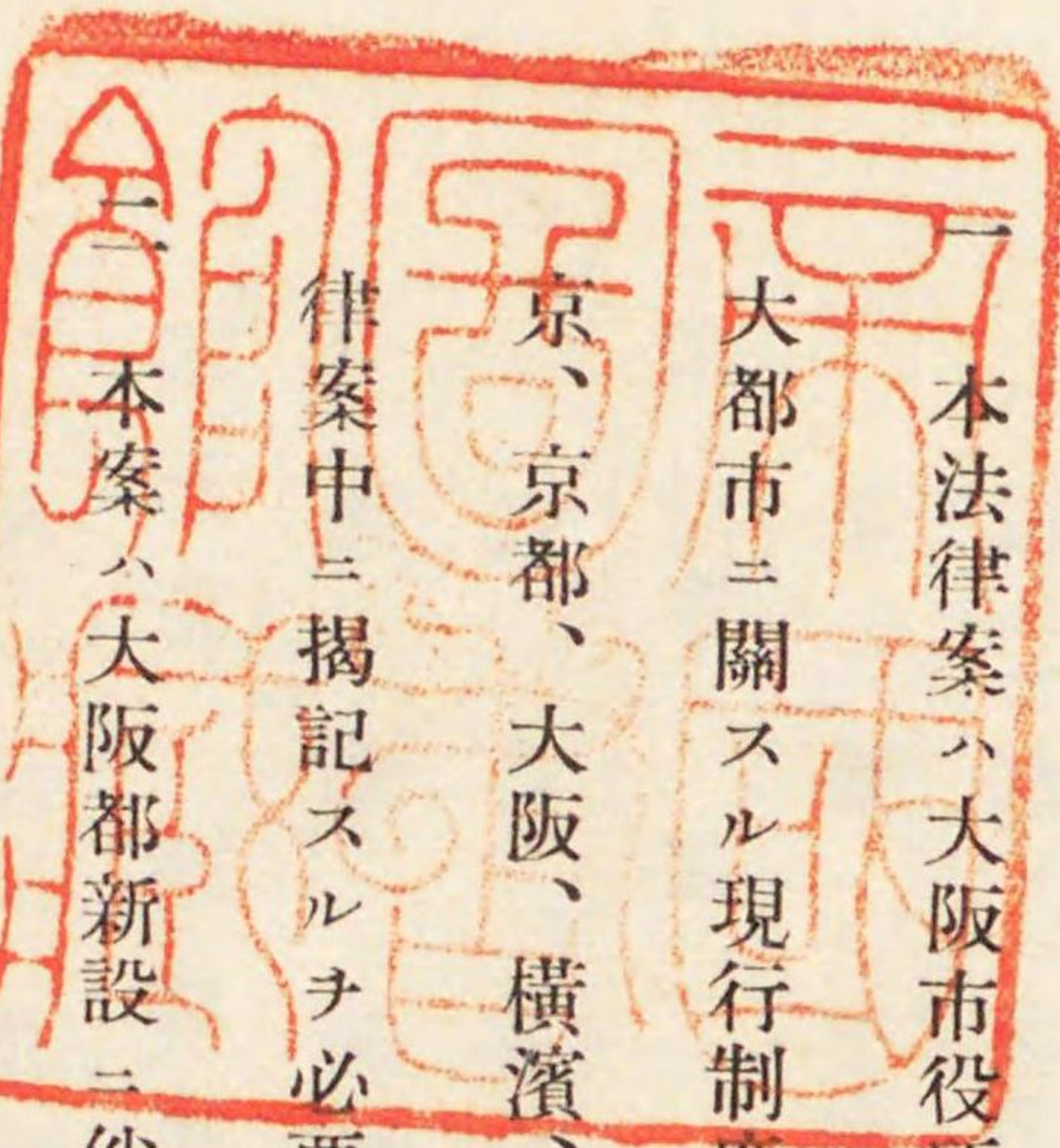
(昭和七年五月印刷)

大 阪 市 役 所

342-550

4994
J7188

はしがき



本法律案ハ大阪市役所ニ於テ昭和五年一月内務大臣ヨリ大都市制度調査會ニ對シ諮問セラレタル
大都市ニ關スル現行制度ニ付改正ヲ要スルモノアリヤ改正ノ必要アリトセハ其ノ要綱如何ニ對シ東
京、京都、大阪、横濱、神戸及名古屋ノ各市長連署ヲ以テ答申セラレタル意見書ヲ骨子ニシテ法
律案中ニ掲記スルヲ必要ト認メタルモノヲ調査網羅シ起草シタルモノナリ



本案ハ大阪都新設ニ伴フ大阪府ノ殘存部分ヲ以テ新設スヘキ浪速縣ノ設置ニ關スル法律案及大阪
都浪速縣ノ組合事業トシテ管理スヘキモノニ關スル法律案(大阪都浪速縣
組合法律案)ヲ併セ一體ノ法制ヲ構成ス

ヘキハ論ヲ俟マス



I 種
W



1200800923689

大阪都制案

第一章 總 則	一
第一款 都及其ノ區域	一
第二款 都住民及其ノ權利義務	二
第三款 都條例及都規則	四
第二章 都 會	五
第一款 組織及選舉	五
第二款 職務權限	三三
第三章 都參事會	三七
第一款 組織及選舉	三七
第二款 職務權限	三八
第四章 都 吏 員	三九
第一款 組織選舉及任免	三九
第二款 職務權限	三三



第五章	給料及給與	三六
第六章	都ノ財務	三九
第一款	財産營造物及都稅	三九
第二款	歳入出豫算及決算	四六
第七章	都ノ一部ノ事務	四八
第八章	都ノ監督	四九
第九章	雜則	五一
附則		五三

大阪都制

第一章 總則

第一款 都及其ノ區域

第一條 大阪府ノ中大阪市及其ノ都市計畫區域ニ屬スル町村ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ大阪都ヲ置ク

第二條 都ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝從來法令又ハ慣例ニ依リ府縣市町村ニ屬スル事務及將來法律勅令ニ依リ都ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 都ノ廢置分合ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 都ノ境界變更ヲ要スルトキハ都會ノ議ニ依リ内務大臣關係アル府縣會及市町村會ノ意見ヲ徵シ之ヲ定ム

所屬未定地ヲ都ノ區域ニ編入セムトスルトキ亦前項ノ例ニ依ル

第一項ノ場合ニ於テ財産アルトキハ其ノ處分ハ都會關係アル府縣參事會及市町村會ノ意見ヲ徵シ内務大臣之ヲ定ム

第五條 都ノ境界ニ關スル爭論ハ内務大臣之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル都及關係アル府縣市町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

都ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ノ爭論ナキトキハ内務大臣之ヲ決定スヘシ其ノ決定ニ不服アル都及關係アル府縣市町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第一項ノ裁定又ハ前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ都及關係アル府縣市町村ニ交付スヘシ

第六條 都ハ處務便宜ノ爲區ニ劃ス

區ハ從前ノ大阪市ノ區域ニ在リテハ其ノ區域ニ依リ其ノ他ノ區域ニ在リテハ命令ヲ以テ定ムル區域ニ依ル

區ノ廢置分合又ハ境界ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ都會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ都長之ヲ定ム

第二款 都住民及其ノ權利義務

第七條 都内ニ住所ヲ有スル者ハ都住民トス

都住民ハ本法ニ從ヒ都ノ財産及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ都ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第八條 帝國臣民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ二年以來都住民タル者ハ都公民トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 禁治産者及準禁治産者

二 破産者ニシテ復權ヲ得サル者

三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者

四 一定ノ住所ヲ有セサル者

五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

都ハ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

第一項二年ノ期間ハ都ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セラレルコトナシ

第九條 都公民ハ都ノ選舉ニ參與シ都ノ名譽職ニ選舉セラレル權利ヲ有シ都ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ若ハ其ノ職ヲ辭シタルトキ又ハ其ノ職務ヲ

實際ニ執行セサルトキハ都ハ一年以上四年以下都公民權ヲ停止スルコトヲ得

四

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二 業務ノ爲常ニ都内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齢滿六十年以上ノ者

四 官公職ノ爲都ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年以上ノ都ノ名譽職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者

六 其ノ他都會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ規定ニ依ル處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ規定ニ依ル處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第三項ノ裁決ニ付テハ都長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者（未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク）及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ都ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒（勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク）及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

第三款 都條例及都規則

第十一條 都ハ都住民ノ權利義務又ハ都ノ事務ニ關シ都條例ヲ設クルコトヲ得

都ハ都ノ營造物ニ關シ都條例ヲ以テ規定スルモノノ外都規則ヲ設クルコトヲ得
都條例及都規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ公告スヘシ

第二章 都會

第一款 組織及選舉

第十二條 都ニ都會ヲ置ク

都會ハ都會議員ヲ以テ組織ス

第十三條 都會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

都會議員ノ定數ハ八十八人トス

都ノ人口三百萬ヲ超ユルトキハ人口五十萬ヲ加フル毎ニ議員四人ヲ増加ス但シ議員ノ定數百二十人ヲ超ユルコトヲ得ス

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス

第十四條 都會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ハ第六條ノ區ノ區域ニ依ル

各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員數ハ都條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ
議員ノ配當ニ關シ必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム

第十五條 都公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第十條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 選舉權ヲ有スル都公民ハ被選舉權ヲ有ス

在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

選舉事務ニ關係アル官吏及都ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

都ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ都ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付都長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請

負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役、監查役若ハ

之ニ準スヘキ者、清算人及支配人ハ被選舉權ヲ有セス

都ノ有給ノ吏員、教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ都會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

衆議院議員ハ都會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第十七條 都會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第十八條 都會議員中關員ヲ生シタル場合ニ於テ第四十六條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニ

シテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場

合ニ於テハ第五十一條第三項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ノ適用ヲ受クル者ナク若ハ前項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ關員カ議員
定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ都長若ハ都會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行
フヘシ

第五十一條第四項及第五項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ハ其ノ前任者ノ選舉セラレタル選舉區ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第十九條 區長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ニハ其ノ區内ニ於テ住所ヲ有スル選舉人ヲ登錄スヘシ第九十七條ノ規定ニ依リ都公民タ

ル者ニシテ都内ニ住所ヲ有セサル選舉人ノ登錄セラルヘキ選舉人名簿ハ都長本人ノ申出ニ依リ其ノ

申出ナキトキハ職權ニ依リ之ヲ定ムヘシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ姓名、住所及生年月日等ヲ記載スヘシ

第二十條 區長ハ十一月五日ヨリ十五日間區役所又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者

ノ縦覽ニ供スヘシ

區長ハ縦覽開始ノ日前三日目迄ニ縦覽ノ場所ヲ告示スヘシ

第二十一條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間内ニ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ

得此ノ場合ニ於テハ區長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定シ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正スヘシ

前項區長ノ決定ニ不服アル者ハ都參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ對シテハ都長又ハ區長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十二條 選舉人名簿ハ十二月二十五日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ十二月二十四日迄之ヲ据置クヘシ

前條ノ場合ニ於テ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ區長ニ於テ直ニ之ヲ修正スヘシ

前條第一項又ハ前項ノ規定ニ依リ選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ區長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第二十三條 第二十一條ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ

天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル名簿ノ調製、縦覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ都長ノ定ムル所ニ依ル都ノ廢置分合、境界變更又ハ區ノ廢置分合若ハ境界變更アリタル場合ニ於テ名簿ニ關シ其ノ分合其

ノ他必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 都長ハ選舉ノ期日前二十日目迄ニ選舉ヲ行フヘキ選舉區、投票ノ日時及各選舉區ニ於テ

選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ

總選舉ニ於ケル各選舉區ノ投票ハ同時ニ之ヲ行フ

第二十五條 議員候補者ヲラムトスル者ハ選舉ノ期日ノ告示アリタル日ヨリ選舉ノ期日前七日目迄ニ

其ノ旨ヲ選舉長ニ届出ツヘシ

選舉人名簿ニ登録セラレタル者他人ヲ議員候補者ト爲サムトスルトキハ前項ノ期間内ニ其ノ推薦ノ届出ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ期間内ニ届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超ユル場合ニ於テ其ノ期間ヲ經過シタル後議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前二項ノ例ニ依リ選舉ノ期日ノ前日迄議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲スコトヲ得

議員候補者ハ選舉長ニ届出ヲ爲スニ非サレハ議員候補者タルコトヲ辭スルコトヲ得ス

前四項ノ届出アリタルトキ又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第二十六條 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲サムトスル者ハ議員候補者一人ニ付二百圓又ハ之ニ

相當スル額面ノ國債證書ヲ供託スルコトヲ要ス

議員候補者ノ得票數其ノ選舉區ノ配當議員數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ十分ノ一ニ達セサルトキハ前項ノ供託物ハ都ニ歸屬ス

議員候補者選舉ノ期日前十日以内ニ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ被選舉權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 投票區ハ第六條ノ區ノ區域ニ依ル

都長特別ノ事情アリト認ムルトキハ區ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ投票區ヲ設クル場合ニ於テ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 區長ハ投票管理者ト爲リ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

投票所ハ區役所又ハ投票管理者ニ於テ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

投票所ハ投票管理者ニ於テ選舉ノ期日前五日目迄ニ之ヲ告示スヘシ

第二十九條 議員候補者ハ各投票區ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ本人ノ承諾ヲ得

テ投票立會人一人ヲ定メ選舉ノ期日ノ前日迄ニ投票管理者ニ届出ツルコトヲ得但シ議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出テタル投票立會人ハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ規定ニ依ル投票立會人三人ニ達セサルトキ若ハ三人ニ達セサルニ至リタルトキ又ハ投票立會

人ニシテ參會スル者投票所ヲ開クヘキ時刻ニ至リ三人ニ達セサルトキ若ハ其ノ後三人ニ達セサルニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ投票區ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ三人ニ達スル迄ノ投票立會人ヲ選任シ直ニ之ヲ本人ニ通知シ投票ニ立會ハシムヘシ

投票立會人ハ名譽職トス

投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第三十條 選舉人ニ非サル者ハ投票所ニ入ルコトヲ得ス但シ投票ニ關スル事務ニ從事スル者、投票所

ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧騒ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ到リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者投票所ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第三十一條 確定名簿ニ登録セラレサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラレヘキ

確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登録セラレタル者選舉人名簿ニ登録セラルルコトヲ得サル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス選舉ノ當日選舉權ヲ有セサル者ナルトキ亦同シ

第三十二條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第三十三條 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經又ハ確定裁決書若ハ判決書ヲ提示シテ投票ヲ爲スヘシ

投票時間内ニ投票所ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票ニ關スル記載ニ付テハ勅令ヲ以テ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス

自ラ議員候補者ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ都長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フヘシ

選舉人名簿ノ調製後選舉人他ノ投票區ニ住所ヲ移スコトアルモ前所屬ノ投票區ニ於テ投票ヲ爲スヘシ

第三十四條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票管理者ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前項ニ同シ

第三十五條 投票管理者ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第三十六條 投票ヲ終リタルトキハ投票管理者ハ其ノ指定シタル二人以上ノ投票立會人ト共ニ投票ノ當日投票函、投票録及選舉人名簿ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第三十七條 天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハサルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ都長ハ當該選舉區又ハ投票區ニ付投票ヲ行フヘキ日時ヲ定メ投票ノ期日前七日目迄ニ之ヲ告示シ投票ヲ行ハシムヘシ

第三十八條 選舉長ハ區長又ハ都長ノ指定シタル都ノ吏員ヲ以テ之ニ充ツ

選舉長ハ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス

選舉會ハ區役所又ハ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第三十九條 都長特別ノ事情アリト認ムルトキハ區劃ヲ定メテ開票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ開票區ヲ設クル場合ニ於テ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十條 第二十九條ノ規定ハ選舉立會人ニ之ヲ準用ス

第四十一條 選舉長ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日ノ翌日選舉會ヲ開キ選舉立會人立會ノ上投票

函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ但シ場合ニ依リ投票函ノ送致ヲ受ケタル日選舉會ヲ開クコトヲ得

前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ先ツ第三十四條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

天災事變等ノ爲選舉會ヲ開クコトヲ得サルトキハ選舉長ハ更ニ其ノ期日ヲ定ムヘシ

第四十二條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第四十三條 選舉會場ノ取締ニ付テハ第三十條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

第四十四條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用非サルモノ
- 二 議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中二人以上ノ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉權ナキ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 五 議員候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 議員候補者ノ氏名ヲ自書セサルモノ

七 議員候補者ノ何人ヲ記載シタルカヲ確認シ難キモノ

八 都會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

第四十五條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スヘシ

第四十六條 都會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ其ノ選舉區ノ配當議員數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第四十七條 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ

第四十八條 第二十五條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超エサルトキハ其ノ選舉區ニ於テハ投票ヲ行ハス

前項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フコトヲ要セサルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ投票管理者ニ通知シ併セテ之ヲ告示シ且都長ニ報告スヘシ

投票管理者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第一項ノ場合ニ於テハ選舉長ハ選舉ノ期日ヨリ五日以内ニ選舉會ヲ開キ議員候補者ヲ以テ當選者ト

前項ノ場合ニ於テ議員候補者ノ被選舉權ノ有無ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スヘシ
第四十九條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト
共ニ之ニ署名スヘシ

選舉錄、投票錄、投票其ノ他ノ關係書類ハ選舉長（都長ノ指定シタル都ノ吏員選舉長タル場合ニ於
テハ都長）ニ於テ、選舉人名簿ハ區長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第五十條 當選者定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所氏名
ヲ告示シ且選舉錄及投票錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ都長ニ報告スヘシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ
且選舉錄及投票錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ都長ニ報告スヘシ

當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ都長ニ申立ツヘシ
一人ニシテ數選舉區ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ何レノ
當選ニ應スヘキカヲ都長ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テサルトキハ都長抽籤シテ之ヲ定ム
官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ當選ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ當選ニ應スヘキ旨ヲ都長ニ申立テサルトキ
ハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス第三項ノ場合ニ於テ何レノ當選ニ應スヘキカヲ申立テサルトキ

ハ總テ之ヲ辭シタルモノト看做ス

第五十一條 當選者左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ第二項
ノ規定ニ依リ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 當選ヲ辭シタルトキ

二 數選舉區ニ於テ當選シタル場合ニ於テ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ選舉區ノ當選ニ應シ若ハ抽
籤ニ依リ一ノ選舉區ノ當選者ト定リタル爲他ノ選舉區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ

三 第四十七條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四 死亡者ナルトキ

五 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ當選無効ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由
ニ依ル選舉又ハ補闕選舉ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

六 第五十五條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果當選無効ト爲リタルトキ

前項ノ事由第五十條第二項、第三項若ハ第五項ノ規定ニ依ル期限前ニ生シタル場合ニ於テ第四十六
條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ生シタル場合ニ
於テ第四十六條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者トナラサリシ者アルトキハ直ニ
選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ第四十六條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス

第一項ノ期間ハ第五十四條第六項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六月以内ニ生シタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定數ノ三分ノ二ニ滿チサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條 第五十條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ都長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ都長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第五十三條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス但シ當選ニ異動ヲ生スルノ虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限り當選ヲ失フコトナシ

第五十四條 選舉人又ハ議員候補者選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第五十條第一項又ハ第五十二條第二項ノ告示ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ都長

ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ都長ハ十四日以内ニ都參事會ノ決定ニ付スヘシ
都長選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ前項申立ノ有無ニ拘ラス第五十條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ都參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ
前項ノ規定ニ依ル都參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル都參事會ノ決定ニ付テハ都長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第十八條、第五十一條又ハ第五十六條第一項若ハ第三項ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關ス

ル異議申立期間、異議ノ決定確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス
都會議員ハ選舉若ハ當選ニ關スル決定確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第五十五條 衆議院議員選舉法第百十條ノ規定ノ準用ニ依リ當選ヲ無効ナリト認ムルトキハ選舉人又ハ議員候補者ハ當選者ヲ被告トシ第五十條第一項ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得

衆議院議員選舉法第百三十六條ノ規定ノ準用ニ依リ選舉事務員カ同法第百十二條又ハ第百十三條ノ規定ノ準用ニ依ル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルニ因リ當選ヲ無効ナリト認ムルトキハ選舉人又ハ議員

候補者ハ當選者ヲ被告トシ其ノ裁判確定ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得
前二項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

衆議院議員選舉法第八十五條、第八十七條及第四百十一條ノ規定ハ前三項ノ規定ニ依ル訴訟ニ之ヲ
準用ス

第五十六條 選舉無効ト確定シタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

當選無効ト確定シタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ更ニ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第五十一條

第三項ノ規定ヲ準用ス

當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルト
キ若ハ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第五十一條第四項及第五項ノ規定ハ第一項及前項ノ選舉ニ之ヲ準用ス

第五十七條 第五十一條若ハ前條ノ選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併
シテ之ヲ行フ

第五十八條 都會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無ハ都會議員カ
左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外都參事會之ヲ決定ス

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二 破產者ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

都長ハ都會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スヘシ都參事
會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定ニ付テハ都長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十四條第七項ノ規定ハ第一項及前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ本人ニ交付スヘシ

第五十九條 第二十一條及第五十四條ノ場合ニ於テ都參事會ノ決定及裁決ハ都長、區長ノ決定ハ區長
直ニ之ヲ告示スヘシ

第六十條 都會議員ノ選舉ニ關シテハ衆議院議員選舉法第十章及第十一章竝第四百十條第二項及第百

四十二條ノ規定ヲ準用ス但シ議員候補者一人ニ付定ムヘキ選舉事務所ノ數、選舉委員及選舉事務員
ノ數竝選舉運動ノ費用ノ額ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第六十一條 本法ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款 職務權限

第六十二條 都會ハ都ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

第六十三條 都會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

- 一 都條例及都規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 二 都費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スルコト但シ第百十四條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 三 歲入出豫算ヲ定ムルコト
- 四 決算報告ヲ認定スルコト
- 五 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、都税又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スルコト
- 六 不動産ノ管理處分及取得ニ關スルコト
- 七 基本財産及積立金穀ノ設置管理及處分ニ關スルコト
- 八 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲スコト
- 九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムルコト但シ法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 十 都吏員ノ身元保證ニ關スルコト
- 十一 都ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スルコト

第六十四條 都會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ都參事會ニ委任スルコトヲ得

第六十五條 都會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フヘシ

第六十六條 都會ハ都ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ關係行政廳ニ提出スルコトヲ得

第六十七條 都會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

都會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ都會成立セス、招集ニ應セス若ハ意見ヲ提出セス又ハ都會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第六十八條 都會ハ議員中ヨリ議長及副議長一人ヲ選舉スヘシ

議長及副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第六十九條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代ハリ議長及副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第七十條 都長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第七十一條 都會ハ都長之ヲ召集ス議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ都長ハ之ヲ召集スヘシ

都會ハ會期ヲ定メテ之ヲ召集スヘシ都長必要アリト認ムルトキハ會期ヲ延長スルコトヲ得

召集及會議ノ事件ハ開會ノ日前二日目迄ニ之ヲ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

都會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ都長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日前三日目迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同シ

都會ハ都長之ヲ開閉ス

第七十二條 都會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得但シ第七十四條ノ除外ノ爲半數ニ滿チサルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿チサルトキ又ハ召集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿チサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十三條 都會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス

第七十四條 議長又ハ議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得但シ都會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第七十五條 法律勅令ニ依リ都會ニ於テ行フ選舉ニ付テハ第三十二條、第四十四條及第四十六條ノ規

定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ都會之ヲ決定ス

都會ハ議員中異議ナキトキハ前項ノ選舉ニ付指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

指名推選ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者ト定ムヘキヤ否ヲ會議ニ付シ議員全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

一ノ選舉ヲ以テ二人以上ヲ選舉スル場合ニ於テハ被指名者ヲ區分シテ前項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十六條 都會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 都長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長又ハ議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須非ス其ノ可否ヲ決スヘシ

第七十七條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス
議員定數ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第六十九條ノ例ニ依ル

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

第七十八條 都會議員ハ都會ノ議決スヘキ事件ニ付都會ニ議案ヲ發スルコトヲ得但シ歲入出豫算ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル發案ハ議員三人以上ヨリ文書ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十九條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クヘカラス

議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヒ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第八十條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ

又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退出セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第八十一條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第八十二條 都會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第八十三條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ

會議録ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ都會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ都長ニ報告スヘシ

第八十四條 都會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ都會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 都參事會

第一款 組織及選舉

第八十五條 都ニ都參事會ヲ置キ議長及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

第八十六條 名譽職都參事會員ノ定數ハ十五人トス

名譽職都參事會員ハ都會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

名譽職都參事會員中闕員アルトキハ直ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

名譽職都參事會員ハ隔年之ヲ選舉スヘシ

名譽職都參事會員ハ後任者ノ就任スルニ至ル迄在任ス都會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

名譽職都參事會員ハ其ノ選舉ニ關スル處分確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第八十七條 都參事會ハ都長ヲ以テ議長トス都長故障アルトキハ都長代理者議長ノ職務ヲ代理ス

第二款 職務權限

第八十八條 都參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スルコト

二 都會成立セサルトキ、第七十二條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキ又ハ都長ニ於テ都會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキ都會ノ權限ニ屬スル事件ヲ都會ニ代ハリテ議決スルコト

三 其ノ他法令ニ依リ都參事會ノ權限ニ屬スル事項

第八十九條 都參事會ハ都長之ヲ召集ス名譽職都參事會員定數ノ半數以上ヨリ會議ニ付スヘキ事件ヲ示シテ都參事會召集ノ請求アルトキハ都長ハ之ヲ召集スヘシ

第九十條 都參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第九十一條 都參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職都參事會員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ第二項ノ除外ノ爲名譽職都參事會員其ノ半數ニ滿チサルトキ、同一ノ事

件ニ付召集再回ニ至ルモ仍名譽職參事都會員其ノ半數ニ滿チサルトキ又ハ召集ニ應スルモ出席名譽職都參事會員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿チサルトキハ此ノ限ニ在ラス

議長及都參事會員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ都參事會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

議長及其ノ代理者共ニ前項ノ場合ニ當ルトキハ年長ノ名譽職都參事會員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第九十二條 第六十六條、第六十七條、第七十條、第七十一條第二項及第五項、第七十三條、第七十五條、第七十七條乃至第八十條、第八十二條並第八十三條第一項及第二項ノ規定ハ都參事會ニ之ヲ準用ス

第四章 都吏員

第一款 組織選舉及任免

第九十三條 都ニ都長及副都長各一人ヲ置ク

副都長ノ定數ハ都條例ヲ以テ之ヲ増加スルコトヲ得

都ハ特別ノ必要アルトキハ都條例ヲ以テ都參與ヲ置クコトヲ得其ノ定數ハ其ノ都條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第九十四條 都長ハ有給吏員トス但シ都條例ヲ以テ名譽職ト爲スコトヲ得

都長ノ任期ハ四年トス

都長ハ内務大臣ノ選舉命令ニ依リ都會ニ於テ選舉推薦シタル都長候補者三人ノ中ニ就キ上奏裁可ヲ經テ内務大臣之ヲ定ム

都長ハ内務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス

第九十五條 副都長ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

副都長ハ都長ノ推薦ニ依リ都會之ヲ定ム

第九十六條 都參與ハ名譽職トス但シ定數ノ全部又ハ一部ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ

ハ第九十三條第三項ノ都條例中ニ之ヲ規定スヘシ

都參與ハ都長ノ推薦ニ依リ都會之ヲ定ム

第九十七條 有給都長、副都長及有給都參與ハ第八條第一項ノ規定ニ拘ラス在職ノ間都公民トス

第九十八條 都長、副都長及都參與ハ第十六條第二項又ハ第五項ニ掲ケタル職ト兼ヌルコトヲ得ス又

都ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ都ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付都長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役、監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人タルコトヲ得ス

第九十九條 有給都長ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ從事スルコトヲ得ス

有給都長、副都長及有給都參與ハ會社ノ取締役、監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人又ハ支配人其ノ他ノ事務員タルコトヲ得ス

第一百條 都ニ都收入役一人ヲ置ク但シ都條例ヲ以テ都副收入役ヲ置クコトヲ得

第九十五條、第九十七條、第九十八條並前條第二項ノ規定ハ都收入役及都副收入役ニ之ヲ準用ス

都長、副都長又ハ都參與ト父子兄弟タル緣故アル者ハ都收入役又ハ都副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

都收入役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ都副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第一百一條 區ニ區長一人ヲ置キ都ノ有給吏員トシ都長之ヲ任免ス

第九十八條及第九十九條第二項ノ規定ハ區長ニ之ヲ準用ス

第一百二條 區ニ區收入役一人又ハ區收入役及區副收入役各一人ヲ置ク

區收入役及區副收入役ハ第六條ノ吏員中都長、副都長、都收入役、都副收入役又ハ區長トノ間及其ノ相互ノ間ニ父子兄弟タル緣故アラサル者ニ就キ都長之ヲ命ス

區收入役又ハ區副收入役ト爲リタル後都長、副都長、都收入役、都副收入役又ハ區長トノ間ニ父子兄弟タル緣故生シタルトキハ區收入役又ハ區副收入役ハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ規定ハ區收入役、區副收入役相互ノ間ニ於テ區副收入役ニ之ヲ準用ス

第百三條 都ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス都會議員、名譽職都參事會員又ハ都公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ都長ノ推薦ニ依リ都會之ヲ定ム但シ委員長ハ都長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル都ノ吏員ヲ以テ之ニ充ツ

委員ノ組織ニ關シテハ都條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第百四條 都公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員又ハ職ニ就キタルカ爲都公民タル者選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ都長ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

第百五條 前數條ニ定ムル者ノ外都ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ都長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ都會ノ議決ヲ經テ都長之ヲ定メ其ノ組織、任用及分限ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百六條 前數條ニ定ムル者ノ外區ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ區長ノ申請ニ依リ都長之ヲ任免ス前項吏員ノ定數ハ都會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第百七條 都長ハ都ヲ統轄シ都ヲ代表ス

都長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 都會及都參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スルコト
- 二 財産及營造物ヲ管理スルコト但シ特ニ之カ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スルコト
- 三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スルコト
- 四 證書及公文書類ヲ保管スルコト
- 五 法令又ハ都會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金、都税又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スルコト
- 六 其ノ他法令ニ依リ都長ノ職權ニ屬スル事項

第百八條 都長ハ都吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ都參與及命令ヲ以テ定ムル都吏員ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

懲戒審査會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

懲戒審査會ノ招集及會議ニ付テハ本法中都參事會ニ關スル規定ヲ準用ス

解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

都長ハ都吏員ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間報
酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス
懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道、府縣、都、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ公職ニ
就クコトヲ得ス

第九條 都會又ハ都參事會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルト
キハ都長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行
ハシムヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ再議ニ付セス又ハ再選舉ヲ行ハシメスシテ直ニ取消スコトヲ
得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル都會又ハ都參事會ノ議決又ハ選舉仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規
則ニ背クト認ムルトキハ都長ハ之ヲ取消スヘシ

第二項ノ取消處分ニ不服アル都會又ハ都參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項及第二項ノ取消處分ハ都會又ハ都參事會開會中ニ非サルトキハ都長ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第十條 都會又ハ都參事會ノ議決明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ都長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ内務大
臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ但シ特別ノ事由アルト認ムルトキハ都長ハ之ヲ再
議ニ付セスシテ直ニ内務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル都會又ハ都參事會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ都長ハ内務大
臣ノ指揮ヲ請フヘシ

都會又ハ都參事會ノ議決收支ニ關シ執行スル能ハサルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニ依ル左
ニ掲クル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付亦同シ

- 一 法令ニ依リ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用其ノ他都ノ義務ニ屬スル費用
- 二 非常ノ災害ニ因ル應急又ハ復舊ノ施設ノ爲ニ要スル費用、傳染病豫防ノ爲ニ要スル費用其ノ他
ノ緊急避クヘカテサル費用

第十一條 都會成立セサルトキ、第七十四條但書ノ除斥ノ爲會議ヲ開クコト能ハサルトキ又ハ都長
ニ於テ都會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ都長ハ都會ノ權限ニ屬スル事件ヲ都參事會ノ議決ニ
付スルコトヲ得

都參事會成立セサルトキ又ハ第九十一條第一項但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ
都長ハ内務大臣ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

都會又ハ都參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

都參事會ノ決定、裁決又ハ裁定スヘキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル都長ノ處
分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前四項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ都會又ハ都參事會ニ報告スヘシ

第十二條 都參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ都長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ都長ハ之ヲ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ都參事會ニ報告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ都長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十三條 都會及都參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ其ノ議決ニ依リ都長ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第十四條 都長其ノ他都吏員ハ從來法令又ハ將來法律勅令ノ定ムル所ニ依リ國及公共團體ノ事務ヲ

掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ都ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 都長ハ其ノ事務ノ一部ヲ副都長又ハ區長ニ分掌セシムルコトヲ得

都長ハ都吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第十六條 副都長ハ都長ノ事務ヲ補助ス

副都長ハ都長故障アルトキ之ヲ代理ス副都長數人アルトキハ豫メ都長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第十七條 都參與ハ都長ノ指揮監督ヲ承ケ都ノ經營ニ屬スル特別ノ事業ヲ擔任ス

第十八條 都收入役ハ都ノ出納其ノ他ノ會計事務並第十四條ノ事務ニ關スル國及公共團體ノ出納

其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

都副收入役ハ都收入役ノ事務ヲ補助シ都收入役故障アルトキ之ヲ代理ス都副收入役數人アルトキハ豫メ都長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

都長ハ都收入役ノ事務ノ一部ヲ都副收入役又ハ區收入役ニ分掌セシムルコトヲ得

都副收入役ヲ置カサル場合ニ於テハ都會ハ都長ノ推薦ニ依リ都收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムヘシ

第十九條 區長ハ都長ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル都ノ事務ヲ掌ル

區長其ノ他區所屬ノ吏員ハ都長ノ命ヲ承ケ又ハ從來法令若ハ將來法律勅令ノ定ムル所ニ依リ國及公共團體ノ事務ヲ掌ル

區長故障アルトキハ區收入役及區副收入役ニ非サル區所屬ノ吏員中上席者ヨリ順次之ヲ代理ス

第一項及第二項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ都ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 區收入役ハ都收入役ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ都ノ出納其ノ他ノ會計事務

ヲ掌ル

區長ハ都長ノ許可ヲ得テ區收入役ノ事務ノ一部ヲ區副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得
區副收入役ヲ置カサル場合ニ於テハ都長ハ區收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムヘシ
區收入役及區副收入役ノ職務權限ニ關シテハ前二項ニ規定スルモノノ外都收入役及都副收入役ニ關
スル規定ヲ準用ス

第二百一十一條 委員ハ都長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル都ノ事務
ヲ調査シ又ハ之ヲ處辨ス

第二百二十二條 第二百五條ノ吏員ハ都長ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

第二百二十三條 第六六條ノ吏員ハ區長ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

區長ハ前項ノ吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第五章 給料及給與

第二百二十四條 名譽職都長、名譽職都參與、都會議員、名譽職都參事會員其ノ他都ノ名譽職員ハ職務
ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

名譽職都長、名譽職都參與及委員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得
費用辨償額、報酬額及其ノ支給方法ハ都條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第二百五條 有給都長、副都長、有給都參與其ノ他ノ有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ
都條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第二百二十六條 有給吏員ニハ都條例ノ定ムル所ニ依リ退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助
料ヲ給與スルコトヲ得

第二百二十七條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給
與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ都長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ都長ハ七日以内ニ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スヘシ關係者其ノ決定
ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定ニ付テハ都長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二百二十八條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他
ノ給與ハ都ノ負擔トス

第六章 都ノ財務

第一款 財産營造物及都稅

第二百二十九條 收益ノ爲ニスル都ノ財産ハ基本財産トシ之ヲ維持スヘシ

都ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得

第三百十條 舊來ノ慣行ニ依リ都住民中特ニ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其

ノ舊慣ニ依ル舊慣ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキハ都會ノ議決ヲ經ヘシ

前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ都ハ之ヲ許可スルコトヲ得

第三百十一條 都ハ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ都規則ヲ設クルコトヲ得

第三百十二條 都ハ第三百十條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料

若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第三百十三條 都ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

都ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第三百十四條 財産ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時

急施ヲ要スルトキ、入札ノ價格其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ都會ノ同意ヲ得タルトキ

ハ此ノ限ニ在ラス

第三百十五條 都ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第三百十六條 都ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ都ノ負擔ニ屬スル費

用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第三百十七條 都稅及其ノ賦課徵收ニ付テハ法律勅令ニ規定アルモノノ外府縣稅ノ例ニ依ル

都ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ特別稅ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第三百十八條 三月以上都内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ遡リ都稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第三百十九條 都内ニ住所ヲ有セス又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖都内ニ於テ土地家屋物件ヲ所

有シ、使用シ若ハ占有シ、都内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ都内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ

其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル都稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第三百十條 納稅者ノ都外ニ於テ所有シ、使用シ、占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ都外ニ於

テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

住所滞在同時ニ都ノ内外ニ渉ル者ノ前項以外ノ收入ニ對シ都稅ヲ賦課スルトキハ其ノ收入ヲ都及關

係府縣ニ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第三百十一條 都ノ内外ニ渉リ營業所ヲ設ケテ爲ス營業又ハ其ノ收入ニ對シ本稅ヲ分別シテ納メサル

者ニ對シ都及關係府縣ニ於テ營業收益稅附加稅、所得稅附加稅又ハ鑛產稅附加稅ヲ賦課スルトキハ

都長及關係府縣知事協議ノ上其ノ歩合ヲ定ム若シ協議調ハサルトキハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

鑛區又ハ砂鑛區カ都ノ内外ニ渉ル場合ニ於テ鑛區稅又ハ砂鑛區稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ鑛區又

ハ砂鑛區ノ屬スル地表ノ面積ニ依リ本稅ヲ分割シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第三百十二條 所得稅法第十八條ニ掲クル所得ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

神社、寺院、祠宇、佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並教會所、説教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ都税ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所説教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國又ハ公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ都税ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ都税ヲ賦課スルコトヲ得ス
前四項ノ外都税ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

第四百十三條 都ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課税ヲ不適當トスル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ都税ヲ課セサルコトヲ得

第四百十四條 數人又ハ都ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ都ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ都ノ一部ニ對シテ賦課ヲ爲スコトヲ得

第四百十五條 都ノ事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキハ都ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ヲシテ利益ヲ受クル限度ニ於テ事業費ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四百十六條 夫役又ハ現品ハ直接都税ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ但シ特別ノ必要アルトキハ直接都税ヲ準率ト爲ササルコトヲ得

學藝、美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セス

第四百十七條 非常災害ノ爲必要アルトキハ都ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ

物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ都長又ハ警察官吏ハ都内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ内務大臣之ヲ決定ス

前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四百十八條 都税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スヘシ

第四百十九條 都長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ超ユル場

合ハ都參事會ノ議決ヲ經ヘシ

都長ハ特別ノ事情アル者ニ限リ都參事會ノ議決ヲ經テ都稅ヲ減免スルコトヲ得

第五百十條 使用料、手數料及都稅ニ關スル事項ニ付テハ法令ニ規定アルモノノ外都條例ヲ以テ之ヲ

規定スヘシ

詐欺其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免カレ又ハ都稅ヲ逋脫シタル者ニ付テハ都條例ヲ以テ其ノ徵收ヲ免カレ又ハ逋脫シタル金額ノ三倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未滿ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

前項ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手數料及都稅ノ賦課徵收ニ關シテハ都條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得財產又ハ營造物ノ使用ニ關シ亦同シ

第五百十一條 都稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ都長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ都長ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ異議ノ申立アリタルトキハ都長ハ七日以内ニ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スヘシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項及前項ノ規定ハ使用料及手數料ノ徵收並夫役現品ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依ル決定ニ付テハ都長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五百十二條 都稅、使用料、手數料、過料、過怠金其ノ他ノ都ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルト

キハ都長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキハ都長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ都條例ノ定ムル所ニ依リ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ國ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

前三項ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第百五十三條 都ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、都ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等

ノ爲必要アル場合ニ限り都債ヲ起スコトヲ得

都債ヲ起スニ付都會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經

ヘシ

都長ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲都參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歳入出豫算及決算

第百五十四條 都長ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一月前ニ都會ノ議決ヲ經

シ

都ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

豫算ヲ都會ニ提出スルトキハ都長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スヘシ

第百五十五條 都長ハ都會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第百五十六條 都費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ都會ノ議決

ヲ經テ其ノ年期间各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百五十七條 都ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケサルコトヲ得

豫備費ハ都會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百五十八條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ内務大臣ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百五十九條 都ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第百六十條 都ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第百六十一條 都ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且每會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘ

シ

検査ハ都長之ヲ爲シ臨時検査ニハ名譽職都參事會員ニ於テ互選シタル參事會員二人以上ノ立會ヲ要

ス

第百六十二條 都ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

都長ハ出納閉鎖後一月以内ニ決算ヲ調製シ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ都會ノ認定ニ付スヘ

シ

決算ハ其ノ認定ニ關スル都會ノ議決ト共ニ之ヲ内務大臣ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百六十三條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第七章 都ノ一部ノ事務

第六十四條 都ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本法中都ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營造物ノ屬スル都ノ一部ノ負擔トス
前二項ノ場合ニ於テハ都ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スヘシ

第六十五條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ都長ハ都條例ヲ設定シ區會ヲ設ケテ都會ノ議決スヘキ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

第六十六條 區會議員ハ都ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ都條例中ニ之ヲ規定スヘシ

區會議員ノ選舉ニ付テハ都會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但シ選舉若ハ當選ノ效力ニ關スル異議ノ決定及被選舉權ノ有無ノ決定ハ都會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

區會ニ關シテハ都會ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十七條 第六十四條ノ場合ニ於テ都ノ一部都長ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第六十八條 第六十四條ノ都ノ一部ノ事務ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八章 都ノ監督

第六十九條 都ハ内務大臣之ヲ監督ス

第七十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分又ハ決定ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分、決定、裁定又ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ第十一條第二項ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタル場合ニ於テハ告示ノ日ヲ以テ處分ヲ受ケタル日ト看做ス

決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ起算ス

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル
異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得
異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ
異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第七十一條 異議ノ決定ハ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノヲ除クノ外其ノ決定ニ付セラレタル日ヨ

リ三月以内ニ之ヲ爲スヘシ

都參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内ニ之ヲ裁決スヘシ

第七十二條 内務大臣ハ都ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

内務大臣ハ都ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第七十三條 内務大臣ハ都會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

都會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第七十四條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

一 都債ヲ起シ竝起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第五百十

三條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

二 使用料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スルコト

第七十五條 主務大臣ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ主務大臣ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範

圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第七十六條 主務大臣ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ輕易ナルモノニ限り勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ

許可ヲ受ケシメサルコトヲ得

第七十七條 内務大臣ハ都長、副都長、都參與、區長及委員其ノ他ノ都吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコト

ヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ都長、副都長、都參與、都收入役、

都副收入役及區長ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經、都長ニ付テハ勅裁ヲ經ルコトヲ要ス

懲戒審査會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

内務大臣ハ都吏員ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期

間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道府縣、都、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ公職ニ就

クコトヲ得ス

第七十八條 都吏員ノ服務規律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定

ム

前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ二十五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第九章 雜 則

第七十九條 第十三條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第八十條 本法ニ於ケル直接税及間接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第八十一條 都ニ於テ賦課スル國稅附加税ノ制限率及段別割ノ制限額ハ左ノ各號ニ規定スル所ニ依ル

一 地租附加税、段別割、所得稅附加税及營業收益稅附加税ニ付テハ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ規定ニ依リ府縣及其ノ他ノ公共團體ニ於テ賦課シ得ヘキ稅率又ハ稅額ヲ合算シタルモノトス

二 鑛業稅附加税、砂鑛區稅附加税及取引所營業稅附加税ニ付テハ鑛業法第八十八條、砂鑛區稅法第三條及取引所稅法第三十二條ノ規定ニ依リ府縣及市町村ニ於テ賦課シ得ヘキ稅率ヲ合算シタルモノトス

都ニ於テ賦課スル都市計畫法第八條第一項第一號乃至第三號ノ規定ニ依ル特別稅ノ制限率ハ同法ニ規定スル各稅ノ制限率ノ二倍トス

都ニ於テ賦課スル地方稅ノ賦課率及賦課ノ制限ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十二條 現行法令中府縣又ハ市ハ都、大阪府又ハ大阪市ハ大阪都、府縣廳又ハ市役所ハ都廳、府縣會又ハ市會ハ都會、府縣參事會又ハ市參事會ハ都參事會、府縣會議員又ハ市會議員ハ都會議員、名譽職府縣參事會員又ハ名譽職市參事會員ハ名譽職都參事會員、府縣知事又ハ市長ハ都長、市吏員ハ都吏員、市制第六條ノ市ノ區ハ都ノ區、市制第六條ノ市ノ區ノ區長ハ都ノ區ノ區長ト看做シ其ノ他此ノ例ニ依リ都ニ關シ之ヲ適用ス但シ本條ノ規定ニ依リ難キモノニ關シテハ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第八十三條 本法施行ノ際都ノ區域ト爲ル町村ノ一部ニシテ現ニ財產ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財產又ハ營造物ノ管理及處分ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十四條 都ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ浪速縣ニ對シ當分ノ内交付金ヲ交付スヘシ

第八十五條 縣市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ爲サムトスル場合ニ於テ都ノ境界變更ヲ伴フトキ

ハ府縣制第三條、市制第三條、第四條又ハ町村制第三條ノ規定ニ拘ラス本法第四條ノ規定ニ依ル市町村ノ境界ニ關スル爭論ニシテ都ノ境界ニ關スルトキハ市制第五條又ハ町村制第四條ノ規定ニ拘ラス本法第五條ノ規定ニ依ル

第八十六條 都ノ境界變更アリタル場合ニ於テ都ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

第八十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第八十九條ノ規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八十八條 本法施行ノ際現ニ大阪市ニ屬スル營造物、事業及權利義務ハ都ニ歸屬ス

第八十九條 従前ノ大阪府及都ノ區域ト爲ル町村ノ營造物及事業ノ處分竝權利義務ノ歸屬ニ付テハ關係アル市町村會及大阪府會ノ意見ヲ徵シ内務大臣之ヲ定ム

第九十條 大阪市及都ノ區域ト爲ル町村ニ於テ本法施行ノ日迄引續キ住所ヲ有シタル者ハ同一期間引續キ都ニ於テ住所ヲ有シタルモノト看做ス

第九十一條 衆議院議員選舉ニ關スル罰則ノ適用又ハ準用ニ依リ本法施行ノ際從前ノ大阪市及都ノ區域ト爲ル町村ニ於テ府會議員又ハ市町村會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セサル者ハ仍其ノ選舉權及被選舉權ヲ有セサル期間都會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セス

第九十二條 本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十九條、第二十條及第二十二條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ命令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

第九十三條 本法施行ノ際都會及都參事會ノ職務權限ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間都長之ヲ行フ

第九十四條 都ニ於テ賦課スヘキ地租附加税ニ付テハ昭和十二年度分迄ニ限リ第八十一條ノ制限内ニ於テ勅令ヲ以テ之ニ代ハルヘキ課税ノ制限ヲ定ムルコトヲ得

第九十五條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

昭和七年五月十四日印刷
昭和七年五月十九日發行

【非賣品】

大阪市役所

大阪市此花區大開町一丁目一四〇
印刷者 中井藤藏
大阪市此花區大開町一丁目一四〇
印刷所 大阪進光堂
電話土佐堀一七四三番

